



明化の教育

3月号(第520号)
令和6年2月29日
文京区立明化小学校
校長 熊倉 勝

一秒の言葉「ありがとう」

校長 熊倉 勝



6年生の演奏は圧巻で、みんなの憧れです。

2月27日(火)に新しい体育館において、4年ぶりに全校児童が一堂に会して6年生を送る会が行われました。1年生から4年生の出し物は、各学年とも趣向を凝らし、「ありがとう」という言葉と共に感謝の気持ちが表れていて、とてもすてきでした。また、本校の伝統である5年生から6年生一人一人への「感謝の手紙」は、どれも6年生のよさをしっかり捉えた心温まる内容で、体育館に心地よい空気が流れていました。締めくくりは全校合唱「翼をください」です。全校児童の思いを乗せた歌声に心を動かされたのは私だけではなかったと思います。みんなの心が一つになった瞬間でした。最後に私から、「ありがとう」という言葉について、話しました。

「ありがとう」は、五文字という大変短い言葉で、一秒の言葉とも言われています。でも、この短い言葉は、その言葉を言った人の心も、その言葉を送られた人の心も温かくします。皆さんは、これまでにそのような経験をしていると思います。これからの学校生活でも、多くの場面で「ありがとう」を必要とすることがあるでしょう。「ありがとう」の一言が、友達に勇気を届けます。「ありがとう」の一言で社会を明るくします。「ありがとう」の一言で、人と人のつながりを大事にできます。皆さんがこれからの人生を歩んでいく中、心のどこかに「ありがとう」という言葉をとどめておいてください。そして、自分の力として使って行ってほしいと思っています。・・・皆さん、ありがとう。

「ありがとう」の一言で心と心がつながり、一体感を味わうことができた6年生を送る会。今の気持ちを大切に1年の締めくくりに向かっていきます。「ありがとう」の言葉と共に。

● 今年度の「学校評価」がまとまりました。保護者・地域の皆様には、学校評価に対しご協力をいただき、ありがとうございます。本校の教育活動については、95%の方から「満足」とご回答をいただき、学校との信頼関係は良好に構築されているといえます。また、器楽部や俳句創作、多様な体験活動などの「特色ある教育活動」については、「分からない」(2%)を除くと回答があった全ての保護者から「満足」との回答をいただいています。今年度は、全校で「狂言教室」、低学年で「和妻体験」、高学年で「新日本フィルハーモニー鑑賞」を実施するなど新たな活動を積極的に開拓し、「明化ブランドの教育」の再構築を図ったことが評価されたものと思われます。

一方、「返事、挨拶、ありがとう、後始末」について保護者の肯定的回答は90%で、昨年度より2ポイント低くなり、2年続けて減少するという結果となりました。「挨拶」については、来年度月に1回挨拶週間を設け、代表委員会を中心に児童が主体となった活動を工夫して実施し、児童の意欲を高めていきたいと考えます。また、校庭がなく運動場所が制限される中での児童の体力の維持・向上にも引き続き取り組んで参ります。学校評価の詳細につきましては、学校HPで公開いたしますのでご覧ください。

2学期から使い始めた新体育館はとても快適で、児童の運動に対する意欲も高まったように感じます。明化小の新たな自慢が一つ増えました。改築工事も着々と進み、残った旧校舎の解体も4月に完了し、Ⅱ期工事も始まります。改築のコンセプトは“復元的改築”です。明治からの“想い”をつなげ、新しい時代にステップする新校舎の完成が楽しみです。また、来年度はいよいよ開校150周年を迎えます。周年行事に児童のアイデアを活かし、保護者・地域の皆様と連携して行うことで、本校の歴史・伝統を知り、愛校心や感謝の気持ちをもつとともに、新しい歴史を自分たちで創り上げようとする気概をもった、やり通す明化の子供を育成して参ります。来る令和6年度も明化小学校にどうぞ変わらぬご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。一年間のご支援に心から感謝いたします。